

2014年度 湘南藤沢学会「研究助成基金報告書」

第2回探検！藤沢391～藤沢391街区の過去と未来を考える3日間～

報告者：河本雄介（政策・メディア研究科修士課程2年）

1. 対象地の説明と活動目的

藤沢391街区は、再開発の主流であるデベロッパーを事業主とした市街地再開発事業ではなく、地権者らによる立体区分所有を前提とした防災建築街区造成事業により開発された共同ビル街区である。地権者の趣向や都市デザイン的な理念が詰まった建物群の存在は、藤沢駅前における個性的な資源として、都市環境を豊かにしているのである。

このような都市計画遺産とも称される391街区であるが、間もなく開業50年が経過、老朽化に伴い、再開発が検討されている。こうした中、私たち都市計画遺産班では、都市計画遺産である391街区を将来に継承していくことを目的として、391街区の価値発信・共有、活性化に2011年度より取り組んできた。2013年度までは、391街区の調査・分析、それに基づく価値の可視化、市民への共有に取り組んできた。特に、2013年度の第一回探検藤沢391では、初めて建物を活用し、市民を対象とした建物の価値発信を行い、沢山の共感を得ることができた。

2014年度は将来の391街区のあり方の検討、将来ビジョンの検討に取り組み、特に本イベントは市民からの意見の収集の場として位置づけ、開催した。

2. 活動概要

- ・イベント名「第2回 探検！藤沢391～これまでの50年、これからの50年～」
- ・活動期間：2014年9月5日（金）～9月7日（日）
- ・活動場所：フジサワ名店ビル、ダイヤモンドビル（神奈川県藤沢市南藤沢391）
- ・参加者：小沢朝江（東海大学教授）、古田雄一（湘南まちいくプロジェクト代表）、倉田直道（工学院大学名誉教授、藤沢駅南北街づくり協議会アドバイザー）、高松誠治（株式会社スペースシンタックス代表）、藤沢市民、中島直人（慶応義塾大学准教授）、中島研究室学生 計160名
- ・実施スケジュール
 - 9月5日 17:00～18:30 トークイベント その1
「『旧東海道藤沢宿』から考える藤沢 藤沢駅周辺地区の豊かな歴史資源とまちづくり」
パネリスト：小沢朝江（東海大学教授）、中島直人（慶応義塾大学准教授）、慶応SFC中島研究室
 - 9月6日 13:00～14:30 トークイベント その2
「湘南xTeens ～10代はまちといかに関わることができるか～」
パネリスト：古田 雄一 湘南まちいくプロジェクト代表
（聞き手）奥津 憲聖 慶応義塾大学 SFC 中島直人研究室 メンバー
 - 9月6日 18:00～19:30 トークイベント その3
「都市デザイナーが語る藤沢391と藤沢駅周辺地区」
パネリスト：倉田直道（工学院大学名誉教授、藤沢駅南北街づくり協議会アドバイザー）、高松誠治（（株）スペースシンタックス・ジャパン代表、鶴沼在住）
（聞き手）中島 直人
 - 9月7日 13:00～16:30
「藤沢の未来を語るワールドカフェ」
中島研究室、藤沢市民によるインタラクティブなイベント
- 9月5日～7日 藤沢アーバニズム展、写真展など

3. 活動報告

今回の「第2回探検！藤沢391」では、391街区を「未来の藤沢を考える場」としてデザインするため、準備段階において、全国のアーバンデザインセンターを調査し、参考としながら、①街づくり情報の発信、②街づくりの実践、③調査・研究の場 としての仮設的なフューチャーセンターとして391街区をデザインした。そして、これらのコンセプトに基づき、トークイベントやワークショップ、展示会を開催した。目標人数の400人を達成することはできなかったが、本イベント

を通じて、参加者である市民から沢山の意見を頂くことができたとともに、まちづくりに携わる市民や市役所の職員から新しいまちづくりの機会、資料・情報の提供をいただくなど、今後の活動に向けて大きな一歩に結びついたに違いないと考える。これを今後のまちづくりの展開に生かしたいと考えている。



1 枚目：展示ブース、2 枚目：写真展、3 枚目：初日のトークセッション（小沢先生）
4 枚目：2 日目のトークセッション（左から高松様、倉田様、中島先生）、5 枚目：高松様のトーク、
6 枚目：2 日目のトークセッション（左から古田様、奥津） 7、8 枚目：ワークショップの風景、

4. 今後の予定

今後は報告書（高質なデザインのもの）を作成した後、ビル関係者や藤沢市、藤沢近隣に住むまちづくり団体等に配布を行い、それをもって、正式なイベントの終了とする。